

## 授業科目 臨床検査総論 I

【担当教員名】 長濱 大輔		対象学年	2	対象学科	臨床	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	◎	○				
【概要・一般目標：G10】 臨床検査の意義と臨床検査技師の役割を認識し、その心構えと一般的注意事項を身に付ける。それから採血法を初めとした検体採取方法と取扱い方法を習得する。そして血液検査以外の尿検査、糞便検査、脳脊髄液検査、関節液検査などのスクリーニング検査を主とする一般検査学を学ぶ。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床検査技師の業務と心構えについて簡単に説明できる。</li> <li>2. 採血の手技や注意点について説明できる。</li> <li>3. 各種検体の取り扱い方、検査方法、臨床的意義について説明できる。</li> <li>4. 腎機能検査、妊娠反応検査、薬物検査の検査方法およびデータの評価について学ぶ。</li> <li>5. 一般検査データの評価ができる。</li> </ol>						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	臨床検査技師の役割と使命				1	講義
2	臨床検査に関する心構えと一般的注意				1	講義
3	採血法				2	講義
4	検体の取扱い方法				3	講義
5	一般検査概論				3	講義
6	尿の一般的性状と物理的検査				3	講義
7	尿試験紙の取扱い方法				3	講義
8	尿タンパク				4	講義
9	尿糖・アセトン体				3	講義
10	血尿、溶血尿（ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿）、尿潜血反応とアスコルビン酸				3	講義
11	尿ビリルビン・ウロビリニン				3	講義
12	尿中白血球（膿尿）と亜硝酸塩（細菌尿）の検出				3	講義
13	尿ポルフィリン体・ポルフォビリノゲン・フェニルケトン体・アルカプトン・5-HIAA・VMA・メラノゲン・脂肪・インジカン				3	講義
14	腎機能検査、妊娠反応、乱用薬物スクリーニング検査				4	講義
15	一般検査データの評価、まとめ				1-5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査講座 臨床検査総論 第3版	三村邦裕、鈴木敏恵、宿谷賢一 他	医歯薬出版株式会社	2014・3,200円	
参考書		尿検査 その知識と病態の考え方	河合 忠、浅野 泰、伊藤 善久	(株)メディカル・ジャーナル社	1992・2,427円	
		標準臨床検査学 臨床検査総論	伊藤機一、松尾収二	(株)医学書院	2013・3,000円	
その他の資料						
【評価方法】 定期試験(90%)、小テスト(10%)			【履修上の留意点】 臨床検査技師の役割および臨床検査に関する基本的事項を学ぶので、確実に理解する。			